

1 事業概要

事務事業名		天龍峡温泉交流館管理事業			課名	観光課	事業No.	216
					会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H19	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画			飯田市観光振興ビジョン				
				地域経済活性化プログラム2017				
				名勝天龍峡整備計画、名勝天龍峡保存管理計画				
法令・例規等								
事業目的		対象	天龍峡温泉交流館の利用者					
		意図	地域交流人口の増加					

2 事業内容

29年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)
	新たに整備された天龍峡温泉交流館を指定管理者と連携し、温泉や郷土食「天龍峡そば」を活用し天龍峡観光の拠点となるように管理運営を行いました。 1. 天龍峡温泉交流館の管理運営の実施 2. 利用者拡大の取り組みとして宣伝活動の実施、地域イベントとの連携や参画。			建物保険料				94
				指定管理業務委託料				7,710
				土地借地料				1,213
				修繕料				135
				その他の経費				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	天龍峡温泉交流館利用者数	人	3,490	43,273				
29年度 決算 (千円)	予算額	9,160	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	9,152						
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	9,152							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	4	14	8	9,160	9,152	天龍峡温泉交流館管理費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		<ul style="list-style-type: none"> 地域交流・観光誘客事業との連携や広報の取組を実施し、温泉の利用者が増え、目標以上の利用者人数となりました。 地元農業高校との連携事業により、地域人教育の一環に寄与しました。 施設運営については経費等の見直しをしていく必要があります。 							
上記の課題解決のための有効策		<ul style="list-style-type: none"> 経営安定のため引き続き運営支援を行う必要があります。 地域の拠点施設として天龍峡や周辺エリアの施設と連携し集客を図る取り組みをする必要があります。 地元関係団体との連携により賑わいを創出していく必要があります。 							
次年度に向けての取り組み		<ul style="list-style-type: none"> 商工会議所等による経営指導等により運営支援を引き続き行います。 天龍峡や周辺エリアの施設と連携して周遊観光による集客を図っていきます。 地元関係団体との連携やイベント等を通じ(賑わい創出)支援をしていきます。 							